

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

複数施設研究用

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

以下、本文-----

ネフローゼ症候群特異的 iPS 細胞を用いた疾患発症機序解明に関する研究

1. 研究の対象

あいち小児保健医療総合センターに通院中の、発症時年齢が 18 歳未満の特発性ネフローゼ症候群患者のうち研究への参加に同意していただいた方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的

小児期に最も多い腎臓の病気の 1 つに「小児特発性ネフローゼ症候群」があります。この病気が発症する原因についてはこれまで何らかの免疫反応が関わっているということがわかっています。しかし、この病気の詳しい発症機序はわかりません。この研究の目的は、小児期発症の特発性ネフローゼ症候群患者の疾患発症機序を明らかにすることです。

方法

研究対象者から末梢血検体（約 20mL）もしくは随時尿検体（約 100mL）を採取した後、神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 iPS 細胞応用医学分野もしくは、外部業者にて iPS 細胞の樹立を行います。iPS 細胞樹立に先立ち、研究対象者末梢血より抽出したゲノム DNA を用いた遺伝子解析を実施します。樹立した iPS 細胞を共同研究施設である理化学研究所多細胞システム形成研究センターに送付し、腎糸球体上皮細胞（ポドサイト）への分化誘導を行います。分化誘導を行ったポドサイトを再度代表研究者所属機関に送付し、mRNA の発現パターンを RT-PCR 法や次世代シーケンサーを利用した RNA シーケンスによって解析します。また、免疫染色やウエスタンブロッティング等の手法を用いたタンパク発現パターンの解析も行います。解析を行う遺伝子やタンパクはゲノムワイド関連解析によって疾患感受性遺伝子や、疾患遺伝子の可能性が高いと評価された遺伝子及びその産生するタンパクを対象とします。

研究期間

倫理委員会による承認日 ～ 2024 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患発症時期、過去に腎生検が施行されている場合にはその病理学的診断名、治療内容、等

試料：血液、または尿

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

神戸大学 小児科 特命教授 野津寛大

理化学研究所 生命機能科学研究センター ヒト器官形成研究チーム チームリーダー 高里実

国立病院機構金沢医療センター 小児科 教育研修部長 太田和秀

武蔵野赤十字病院 小児科 岡田麻里

兵庫医科大学 小児科 助教 西岡隆文

横浜市立大学附属市民総合医療センター 小児総合医療センター 助教 稲葉彩

久留米大学病院 小児科 講師 田中征治

高松赤十字病院 小児科 清水真樹

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 診療部長 亀井宏一

国立病院機構北海道医療センター 小児科 医長 荒木義則

佐賀大学医学部 小児科 講師 大塚泰史

滋賀医科大学 小児科学講座 講師 澤井俊宏

東京医科歯科大学 小児科・発生発達病態学分野 助教 宇田川智宏

東京都立小児総合医療センター 腎臓・リウマチ膠原病科 医長 濱田陸

福岡市立こども病院 腎疾患科 科長 郭義胤

北海道大学大学院医学研究科 生殖・発達医学分野 小児科学教室 助教 岡本孝之

獨協医科大学 小児科 講師 大和田葉子

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 腎臓科

担当者名 藤田直也 (研究責任者)

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究代表者：

神戸大学大学院内科系講座小児科学分野 野津寛大

-----以上